

フラッシュ開発ツールキットご使用上のお願い

フラッシュ開発ツールキットの使用上の注意事項を連絡します。

- スクリプトを使用する場合の注意

1. 該当製品

フラッシュ開発ツールキット (Flash Development Toolkit)
V.3.2 ~ V.3.07 Release 05 および V.4.00 Release 00 以降

2. 内容

スクリプトファイルを実行するとアプリケーションエラーが発生する場合があります。

3. 発生条件

以下のいずれかの条件を満たす場合に発生することがあります。

- (1) 1つのコンフィグレーションファイルで、複数のスクリプトファイルを実行しており、それぞれのスクリプトファイルは使用するワークスペースが異なっている。
- (2) スクリプトファイル実行時、スクリプトファイル内で複数のワークスペースがロードされている。

なお、問題が発生した場合、フラッシュ開発ツールキットを一旦、終了する必要があります。

4. 回避策

ワークスペース単位でコンフィグレーションファイルを作成し、1コンフィグレーションファイルで1スクリプトファイルを制御してください。ただし、コンフィグレーションファイルを作成する際は、以下の点に注意してください。

- (1) スクリプトコンフィグレーションダイアログボックスの「スクリプトファイルの設定」にパスを入力する際、スクリプトファイルを「ワイルドカード」ボタンを使用して検索せず、「ファイル」ボタンを使用してください。

(2) 「ログファイル」タブ および「ステータスファイル」タブ中で設定する
ログファイルおよびステータスファイルは、コンフィギュレーション
ファイル毎に異なる名称にしてください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.